

事務事業名		都市公園安全・安心対策緊急総合支援事業			☒ 実施計画登載事業		☐ 合併建設計画登載事業				
政策体系	政策名	01: 潤いに満ちた快適な都市環境の創造			事業期間		予算科目				
	施策名	02: 良好な生活空間の創造					会計	款	項	目	事業
	基本事業名	04: 公園・緑地の整備			☐ 単年度のみ ☐ 単年度繰返 (開始 年度～)		01	08	05	04	06
根拠法令	都市公園法第2条の3			☒ 期間限定複数年度 (計画期間) 21 年度～ 22 年度 ※全体計画欄の総投入量を記入							
所属	部課名	都市整備部都市計画課									
	係名	公園緑地係	電話内線	0192-27-3111 323							
事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)											
都市公園のバリアフリー化の推進と施設の安全性を高めるため、トイレの改築整備と老朽化した遊具の更新等を行う。 主な業務は、①事業計画内容の地域住民への説明、②工事の設計と積算、③工事発注及び契約、④工事監理、⑤完成検査と工事費の支払いである。 事業費は、トイレの改築及び遊具更新の工事費用として支出される。 大田公園・大田南公園・地ノ森公園・南笹崎公園・東町公園・盛川河川敷公園・吉野森公園・上手公園のトイレ改築と遊具工事整備											
全体計画 (※期間限定複数年度のみ)											
総投入量 (千円)	事業費 財源内訳	国庫支出金	58,000,000								
		都道府県支出金									
		地方債	57,952,000								
		その他									
		一般財源	1,047,000								
	事業費計 (A)	116,999,000									
	人件費	正規職員従事人数	2								
	延べ業務時間	1,400									
	人件費計 (B)	5,600									
	トータルコスト(A)+(B)	117,004,600									

1 現状把握の部 (DO)

(1) 事務事業の目的と指標		(5) 活動指標 (事務事業の活動量を表す指標)	
① 手段 (主な活動)		名称 単位	
前年度実績 (前年度に行った主な活動)		ア トイレの改築箇所数 箇所	
地ノ森公園・南笹崎公園・東町公園のトイレ改築と遊具更新整備発注済み (繰越)		イ 遊具の新設・更新箇所数 箇所	
今年度計画 (今年度に計画している主な活動)		ウ	
盛川河川敷公園・吉野森公園・上手公園のトイレ改築と遊具工事整備			
② 対象 (誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等		(6) 対象指標 (対象の大きさを表す指標)	
公園利用者、トイレ施設、遊具施設		名称 単位	
		カ トイレの要改築箇所数 箇所	
		キ 遊具の要新設・更新箇所数 箇所	
		ク	
③ 意図 (この事業によって、対象をどう変えるのか)		(7) 成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	
公園トイレの水洗化による衛生環境面の改善とバリアフリー化及び遊具の新設更新により、誰でも安全で快適に利用できるようにする。		名称 単位	
		サ トイレの改築整備率 %	
		シ 遊具の新設・更新整備率 %	
		ス	
④ 結果 (基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか)			
公園・緑地が確保されている。			

(2) 総事業費・指標等の推移		年度	17年度 (実績)	18年度 (実績)	19年度 (実績)	20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度 (実績)
投入量	事業費	単位						
	財源内訳	千円					16,652	41,760
	国庫支出金	千円						
	都道府県支出金	千円					16,652	41,700
	地方債	千円						
	その他	千円						60
	一般財源	千円	0	0	0	0	33,304	83,520
	事業費計 (A)	千円					2	2
	人件費	人					700	700
	延べ業務時間	時間	0	0	0	0	2,800	2,800
指標	人件費計 (B)	千円	0	0	0	0	36,104	86,320
	トータルコスト(A)+(B)	千円	0	0	0	0		
	⑤活動指標	ア 箇所					2	7
		イ 箇所					8	6
		ウ						
	⑥対象指標	カ 箇所					23	21
		キ 箇所						
		ク						
	⑦成果指標	サ %					34.3	54.3
		シ %					22.9	40.0
		ス						

事務事業ID	1406	事務事業名	都市公園安全・安心対策緊急総合支援事業
--------	------	-------	---------------------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？

都市公園のバリアフリー化の推進と施設の安全性を高めるため、トイレの改築整備と老朽化した遊具の更新を都市公園安全・安心対策緊急総合支援事業により事業を開始した。

② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは後期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？

平成18年12月から「高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律」が施行されたことに伴い、移動円滑化のために必要な特定公園施設の設置に関する基準や促進に関する基本方針が定められ、都市公園についてもトイレ等の施設整備に関する整備目標(平成22年度までに30%)が設定された。さらに、下水道法第11条の3の規定により公共下水道処理区域内では、3年以内に水洗便所に改造しなければならないこととなっており、公共下水道整備の進捗に伴い、トイレ整備の必要箇所が増加している。

③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？

地区及び地域公民館や公園利用者から改修要望が寄せられている。

2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性	☐ 見直し余地がある ⇒ [理由] → 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 結びついている ⇒ [理由] → 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 この事務事業の目的は当市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？ 公園施設の整備により、利用者が安全かつ快適に利用できるようになり、都市環境の改善につながる。
	② 公共関与の妥当性	☐ 見直し余地がある ⇒ [理由] → 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 妥当である ⇒ [理由] → 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 なぜこの事業を当市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？ 公共の施設として市が設置し、管理運営している公園である。
	③ 対象・意図の妥当性	☐ 見直し余地がある ⇒ [理由] → 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 適切である ⇒ [理由] → 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？ 対象は、バリアフリー化の推進と施設の安全性を高めるために、トイレの改築整備と老朽化した遊具の更新が必要な公園である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地	☒ 向上余地がある ⇒ [理由] → 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☐ 向上余地がない ⇒ [理由] → 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？ 早期に事業を実施のうえ整備を推進し、整備効果の早期発現を図る。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響	☐ 影響無 ⇒ [理由] → 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 影響有 ⇒ [その内容] → 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？ 障害者等に対するバリアフリー化の整備も停滞する。また、施設の老朽化が進行し、衛生環境上からも公園利用率の低下や周辺住宅地からの苦情の増加が予想される。施設の安全性に問題が残ることになり、事故発生の一因ともなる。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性	☐ 他に手段がある (具体的な手段, 事務事業) → 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☐ 統廃合・連携ができる ⇒ [理由] → 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☐ 統廃合・連携ができない ⇒ [理由] → 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？ 現在実施している事業で類似の事業は無い。
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒ [理由] → 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 削減余地がない ⇒ [理由] → 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など) バリアフリー化の推進と施設の安全性を高めるためには必要最低限の事業費としており、事業費の削減余地はきわめて低い。無理に削減をすることになれば、施設本体の質的な面での低下が避けられない。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒ [理由] → 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 削減余地がない ⇒ [理由] → 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど) 設計監理業務の委託は可能であるが、技術職員の事務量や経費面からの検討が必要である。
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地	☐ 見直し余地がある ⇒ [理由] → 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 公平・公正である ⇒ [理由] → 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 事業の内容が一部の受益者に偏っていない不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？ 公園は一般に開放されているため、受益機会は公平である。また、不特定多数の人が利用する公共施設であるため、一部の有料公園の施設使用料以外に受益者負担はない。

事務事業ID	1406	事務事業名	都市公園安全・安心対策緊急総合支援事業
--------	------	-------	---------------------

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 1次評価者としての評価結果 (2枚目と整合を図ること) ① 目的妥当性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ② 有効性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ③ 効率性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ④ 公平性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり		(2) 全体総括(振り返り、反省点) 有効な事業導入により行っている事業であり、予定の工事を終えている。																					
(3) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可) ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的再設定 ☐ 事業統合・連携 ☒ 現状維持 事業のやり方改善 (☐ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 公平性改善) (上記方向性に対する具体的な内容) 有効な事業を導入し、引き続きバリアフリー化の推進と施設の安全性を高めていく。		(4) 改革・改善による期待成果 左記(3)の改革改善案を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×	低下		×	×
		コスト																					
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持		●	×																			
	低下		×	×																			
(5) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等 市単独費での整備が厳しい状況にあるため、今後とも有効な事業の導入が必要である。																							

(職 名) ※原則として施策の主管課長

4 事務事業の2次評価結果

2次評価者

都市計画課長

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合

- ① 記述水準(1次評価の記述内容を読んだ段階で選択)
- ☐ 記述不足でわかりにくい
☐ 一部記述不足のところがある
☒ 記述は十分なされている
- ② 評価の客観性水準(2次評価を行った後に総合的に判断して選択)
- ☐ 客観性を欠いており評価が偏っている(事務事業の問題点、課題が認識されていない)
☐ 一部に客観性を欠いたところがある
☒ 客観的な評価となっている(事務事業の問題点、課題が認識されている)

(2) 2次評価者としての評価結果

- ① 目的妥当性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり
 ② 有効性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり
 ③ 効率性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり
 ④ 公平性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり

(3) 評価結果の根拠と理由

都市公園安全・安心対策緊急総合支援事業の導入による都市公園の整備であることから、対象となる公園、また、事業年度も限定されているが、事務執行については適切になされている。

(4) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可)

- ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的再設定 ☐ 事業統合・連携 ☒ 現状維持
 事業のやり方改善 (☐ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 公平性改善)

(上記方向性に対する具体的な内容)

可能な限り早期着工に努め、供用する。

(5) 改革・改善による期待成果

左記(4)により期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。また、1次評価と内容が異なる場合には、1次評価の結果も「○」で記入する。
 (廃止・休止の場合は記入不要)

		コスト		
		削減	維持	増加
成果	向上			
	維持		●	×
	低下		×	×

5 最終評価結果

(1) 行政経営推進会議等での指摘事項